

# 自分で地図をデザインできるウェブ地図 「地理院地図 Vector(仮称)」

SATテクノロジー・ショーケース2021

## ■ ベクトルタイルとは

「自分でデザインした地図をウェブで公開したい！」  
ベクトルタイルを使えば、そんなことも夢ではない。

ベクトルタイルとは、地物の属性情報(例えばある線が道路であるか鉄道であるかなど)を持ったベクトル形式の地図データを、ウェブ配信に適したタイル状に分割したデータである。そのため、色や太さなどを属性情報に応じて設定したファイルを別に複数用意することで、1種類の地図データから複数の地図表現を実現するといった高度な利用を、ウェブを通じて行うことができる(図1)。

国土地理院では、このベクトルタイルを地図データに利用した、自分で地図をデザインできるウェブ地図サイト「地理院地図Vector(仮称)」<sup>[1]</sup>(以下「地理院地図Vector」という。)を公開している。

国土地理院が用意した  
地図デザイン用のファイル

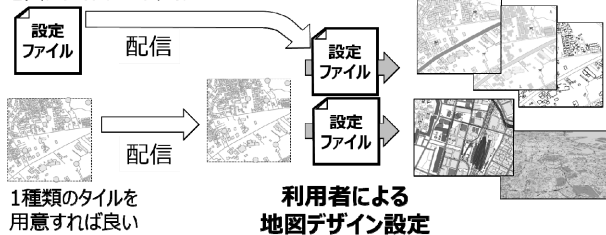


図1: ベクトルタイルから複数の地図表現を実現する仕組み

## ■ 「地理院地図Vector」の機能

地理院地図Vectorでは、道路、鉄道などの項目ごとに表示/非表示を切替えたり、色や太さなど詳細なデザインを編集したりすることができるので、例えば、道路をほかの地物より目立たせて表示し、さらに道路の種類(高速道路、国道、都道府県道など)をわかりやすくした道路地図や、鉄道路線と駅名だけを表示した鉄道路線図といったオリジナルの地図を作成することができる(図2)。



図2: 地理院地図Vectorでデザインした地図の例

## ■ 「地理院地図Vector」の活用例

教育現場においては、地理院地図Vectorで必要な地物だけ表示した白地図を作成し印刷することで、校区探検や調べ学習の成果などを生徒が直接書き込むこともでき、地域学習の授業のための素材として利用できる(図3)。また、防災分野においては、被災地の空中写真に道路のみを重ねて表示することで、浸水や土砂災害等により寸断された道路の把握が容易となり、災害時の被災状況把握に役立てることが可能となる。

ベクトルタイルの仕様や地理院地図Vectorのソースコードのほか、地理院地図Vectorでデザインした様々な地図はGitHub<sup>[2]</sup>で公開している。

地理院地図Vectorについては、YouTube「地理院地図チャンネル」<sup>[3]</sup>でも動画で使い方を公開している。この「使い方動画」などを参考に、様々なオリジナル地図の作成をぜひとも体験していただきたい。



図3: 地理院地図Vectorの教育現場における活用例

## ■ 関連情報・出典

[1] 地理院地図Vector(仮称)  
<https://maps.gsi.go.jp/vector/>



[2] 地理院地図Vector(仮称)でデザインした地図のサンプル集  
<https://github.com/gsi-cyberjapan/gsimaps-vector-stylesamples/>



[3] YouTube「地理院地図チャンネル」  
<https://www.youtube.com/c/gsimaps/>



代表発表者  
所属

神田 兵庫(かんだ ひょうご)  
国土交通省 国土地理院

問合せ先

地理空間情報部 情報普及課  
〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番  
お問合せはこちら



■キーワード: (1) 地理院地図Vector  
(2) ベクトルタイル  
(3) 地理空間情報

■共同研究者: 川井 拓弥(国土地理院)  
茂木 宏仁( )  
北浦 一輝( )  
佐藤 壮紀( )